

令和7年度  
近畿大学大学院 総合文化研究科 入学試験  
【一般】

英語英米文学専攻  
専門科目試験問題

試験開始の合図があるまでに、次の注意事項をお読みください。

- 1) 解答はじめの合図があるまで、問題冊子を開かないでください。
- 2) 机の上には、受験票、HBの黒鉛筆又はシャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り(電動式は除く)、時計(時計機能だけのもの)、眼鏡以外のものは置かないでください。
- 3) 辞書については、持ち込を許可されている専攻・コースのみ使用可能です。(電子辞書は除く)
- 4) 試験開始後、解答用紙にコース名・受験番号・氏名を記入してください。
- 5) 試験開始後に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁等に気が付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 6) 試験終了後、問題冊子はお持ち帰りください。

令和7年2月15日実施

【問題・設問】

【A】

次の英文を読み、以下の設問に答えなさい。

この部分は著作権の関係により、掲載できません。

出典: Crowther, D., & Gass, S. M. (2019). Speaking. In J. W. Schwieter & A. Benati (Eds.), *The Cambridge Handbook of Language Learning* (pp. 258–282). Cambridge University Press.

【解答例】 全ての設問の解答例は、著作権の関係により非公開とする。

【設問】

- 問 1 下線部(1)はどのような意味か。日本語で説明しなさい。
- 問 2 下線部(2)はどのような意味か。日本語で説明しなさい。
- 問 3 下線部(3)について、具体例を挙げながら日本語で説明しなさい。
- 問 4 空所  に入る最も適した英語1語を答えなさい。
- 問 5 下線部(5)が指しているのはどのようなことか。日本語で説明しなさい。

【B】

次の英文を読み、以下の設問に答えなさい。

この部分は著作権の関係により、掲載できません。

出典: Boraie, D. & Gebriel, A. (2015). Creating effective research questions. In Brown, J. D., & Coombe, C. (Eds.), *The Cambridge Guide to Research in Language Teaching and Learning* (pp. 190–197). Cambridge University Press.

【設問】

- 問 1 下線部(1)について、independent variable、dependent variable とは何か。具体例も含めながら、日本語で説明しなさい。
- 問 2 下線部(2)は、この文脈ではどのような意味か。日本語で説明しなさい。
- 問 3 研究のタイプとしての quantitative research、qualitative research、mixed-methods research は、どのような点で異なっているか。本文の内容を踏まえて、150 語以上の英語で説明しなさい。

**[ C ]**

次の(1)～(3)に示す用語・概念について、それぞれ 50 語以上の英語で説明しなさい。

(1) language anxiety            (2) recast            (3) fluency and accuracy

**[ D ]**

次の問いに英語で答えなさい。

1. Discuss some key factors that discourage EFL learners from speaking in the target language during class. Then, explain how these challenges can be addressed through effective speaking activity design. Your answer should be **at least 200 words**.
2. Identify some potential issues with assessing speaking through a spontaneous and unscripted conversation task. Then, discuss strategies to mitigate them. Your answer should be **at least 200 words**.

## 【出題意図】

### 【A】

#### 問1

第二言語学習に関する英語文献で使われる用語を正しく理解できるか。本設問では「手話言語による産出」という点を正しく捉えることができているかを問うている。

#### 問2

第二言語学習に関する英語文献の内容を正しく理解できるか。本設問では、理解の際の言語処理が意味中心であること、様々な方略を用いながら行われること、文脈や既有知識などを使いながら多様な解釈に至りうること、その意味で柔軟な処理であること、を踏まえた読み取りができるかどうかを問うている。

#### 問3

第二言語学習に関する英語文献で言及される概念を正しく理解できるか。本設問では、当該箇所が「発話の聞き手が示す反応」のことを指していることが理解できているか。さらに、その具体例として、理解の確認、質問、訂正、言い換え、表情、ジェスチャーなどに適切に言及しながら、説明ができるかを問うている。

#### 問4

第二言語学習に関する英語文献の内容を正しく読み取ったうえで、適切な語を当てはめることができるか。本設問では、negative evidence という用語を問うている（設問となる空所には negative が入る）。

#### 問5

第二言語学習に関する英語文献の内容を正しく理解できるか。本設問では、「学習者は与えられたフィードバックをすべて一律に取り入れるわけではない」という点が読み取れているかを問うている。

### 【B】

#### 問1

研究方法に関する英語文献で使われる用語・概念を正しく理解できているか。本設問では、実証研究において、独立変数(independent variable)は研究者が研究の目的で操作する変数であること、従属変数(dependent variable)は独立変数の変化によって影響を受ける変数(結果)であることを踏まえた解答ができているかを問うている。

#### 問2

研究方法に関する英語文献の内容を正しく理解できるか。本設問では、質的研究が「研究課題(リサーチ・クエスチョン)の設定 → データ収集 → 分析・検討」といった直線的な流れで進むとは限らず、その過程では、研究課題が変化したり、新たに追加されたりすることも許容されるという意味で「循環的・反復的」であるという内容を正しく理解できているかを問うている。

#### 問3

研究方法に関する英語文献で言及される概念を正しく理解するとともに、英語で説明できるか。本設問では、本文の内容も踏まえたうえで、以下の3つのポイントを押さえた説明ができるかを問うている。

- 量的研究(quantitative research): 変数間の関係性を、実験や調査などを通じて測定した数値データ(量的データ)を使って分析する。

- 質的研究(qualitative research):ある事象やそのプロセスが「なぜ、どのように」生じるのかを分析する。インタビューや観察の記録などといった、定性的なデータ(質的データ)を扱うものである。
- 混合研究(mixed-methods research)は、上記2つのアプローチを統合したもの。量的データと質的データの両方を用いる。

## **[C]**

(1)、(2)、(3)それぞれに与えられた用語・概念について、関連する先行研究で挙げられてきた主要な論点を適切に含めながら、英語で説明ができるか。

## **[D]**

(1)および(2)の設問で、それぞれに与えられたトピックについて、関連する先行研究で指摘されてきた論点を踏まえたうえで、自分自身の議論や見解を英語で論理的に構成できているか。